

【ご参考】平成31年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

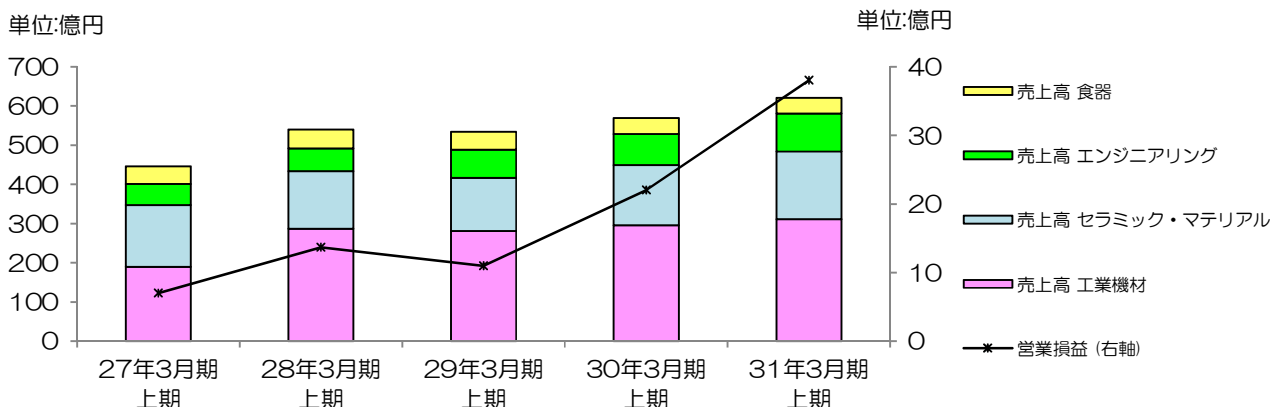
【業績】
売上高 620億円（前年同期比 51億円増収）
為替により、売上高 1.3億円増加（US\$3.6円円高、EUR 8.4円円安、THB 0.2円円安等）
営業利益 38億円（前年同期比 16億円増益） 経常利益 50億円（前年同期比 18億円増益）
親会社株主に帰属する四半期純利益 41億円（前年同期比 16億円増益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（1社増加） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別利益 2.1億円：固定資産売却益 1.5億円等
特別損失 0.8億円：固定資産処分損 0.7億円等
【中間配当金】
中間配当 40円／株（前期中間30円／株） 期末配当40円／株 予定（前期末40円／株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	対前年同期比	
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期		
	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績		
売上高	工業機材	190	287	281	295	311	16
	セラミック・マテリアル	157	147	136	154	173	19
	エンジン・アプリケーション	54	58	72	79	97	18
	食器	45	49	46	41	39	△2
		447	540	534	569	620	51
営業利益	工業機材	3.0	7.2	2.8	8.1	10.4	2.3
	セラミック・マテリアル	6.9	7.6	7.8	13.6	20.8	7.2
	エンジン・アプリケーション	△0.5	1.4	4.1	6.0	11.9	5.9
	食器	△2.2	△2.5	△3.6	△5.5	△5.1	0.4
		7.1	13.7	11.0	22.2	38.0	15.8
(売上高営業利益率)	(1.6%)	(2.5%)	(2.1%)	(3.9%)	(6.1%)	-	
経常利益	12.5	19.8	18.5	31.6	49.6	18.0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.8	23.9	9.7	24.8	40.8	16.0	
1株当たり四半期純利益	47.61円	166.76円	67.26円	172.64円	283.92円	-	
1株当たり純資産	4,909.55円	5,538.75円	5,231.82円	6,068.26円	7,147.09円	-	
US\$ 為替レート	102.2円	120.5円	111.8円	112.1円	108.5円	-	

売上高及び営業損益の推移（平成27年3月期上期-平成31年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	平成30年3月期 上期		平成31年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	5	11	7	10
セラミック・マテリアル	4	4	13	4
エンジニアリング	0	1	0	1
食器	2	2	1	2
管理部門	2	3	4	3
合計	13	20	25	20

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	H27年3月	H28年3月	H29年3月	H30年3月	H30年9月	対前期比
有利子負債	303	282	231	131	106	△ 25
現金及び預金	125	107	113	185	127	△ 58
ネット有利子負債	178	175	119	△ 54	△ 21	33

2. 平成31年3月期の予想**(1) 重点施策****【工業機材事業】**

海外工場の整備・増強、海外販売活動の強化を図り、グローバルな事業拡大を推進する。
差別化した新商品により成長分野でのシェア拡大を図る。

【セラミック・マテリアル事業】

電子ペーストは、今後拡大が期待される車載分野をターゲットに、MLCC、インダクタ向等の拡販を進める。
厚膜回路基板は、LED等新用途向けの生産体制の整備を進める。触媒担体は、次世代の製品開発を推進する。
電子部材は、生産体制の強化とMLCC用微粒子材料、燃料電池用等新製品の開発に取り組む。

【エンジニアリング事業】

乾燥炉や焼成炉は、電池材料分野や新素材分野での新商品開発を推進する。
混合攪拌装置と濾過装置は、新用途開拓と自動車や工作機械分野等の販売活動の強化を図る。
超硬丸鋸切断機は、新機種による市場開拓と国内外の販売力の強化を図る。

【食器事業】

国内市場では、訪日外国人の増加や2020年東京五輪の開催で需要が拡大するホテル・レストラン市場をターゲットに業務用食器の拡販を目指す。海外市場では、米国は新商品による売上げの回復を目指し、成長が期待されるインドなどアジア市場では、営業体制を強化し拡販に取り組む。

【設備投資金額】

設備投資 50億円 減価償却費 40億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	平成30年 3月期	平成31年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	594	311	319	630	36
	セラミック・マテリアル	317	173	172	345	28
	エンジニアリング	180	97	78	175	△ 5
	食器	88	39	41	80	△ 8
		1,179	620	610	1,230	51
営業利益	工業機材	17.4	10	14	24	7
	セラミック・マテリアル	26.5	21	13	34	7
	エンジニアリング	15.2	12	5	17	2
	食器	△ 8.2	△ 5	△ 4	△ 9	△ 1
		51.0	38	28	66	15
経常利益		69.9	50	37	87	17
親会社株主に帰属する当期純利益		134.3	41	49	90	△ 44

(下期想定為替レート US\$=110円)